

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区 関東東部

2016～2017 年度

第 1 回 評 議 会



日時： 2016 年 7 月 23 日(土) 13:30～16:30

場所： 東京 YMCA 東陽町センター:視聴覚室

目 次

2016-2017年度 関東東部 第1回評議会 出席者リスト	-----	2
2016-2017年度 関東東部 第1回評議会 次第	-----	4
2016-2017年度 関東東部 役員名・クラブ役員名簿	-----	5
2016-2017年度 活動主題	-----	6
理事・部長方針	-----	7
事業主査活動方針	-----	11
クラブ会長方針	-----	16
クラブ運営に関する事務手続きのポイント	-----	26
会計について	-----	28
関東東部 部会計からのお願い	-----	29
2016-2017年度 東日本区役員および委員長等一覧	-----	30
2016-2017年度 東日本区行事予定表	-----	31
2016-2017年度 関東東部 第1回評議会 議案書	-----	32
部会案内	-----	40
東日本区IT活用について	-----	41
添付資料		
関東東部部則	-----	42
関東東部C S 事業資金管理・運用規定	-----	46
ワイズソング「いざ立て」	-----	47
ワイズの信条	-----	48

2016-2017年度 関東東部 第1回評議会 出席者リスト (1)

	クラブ名	役 職	名 前	評議会	懇親会	兼任 及び 前職
1	茨城	関東東部部長	片山 啓	○	○	直前会長
2	東京江東	関東東部直前部長	鈴木 雅博	○	×	
3	千葉	関東東部次期部長	長尾 昌男	○	○	直前ク会計
4	茨城	関東東部書記	稲本 修一	○	○	
5	茨城	関東東部会計	井上 恒久	○	○	直前ク会計
6	東京北	地域奉仕事業主査	村杉 克己	○	○	直前ク書記
7	東京グリーン	会員増強事業主査	柿沼 敬喜	○	○	直前ク会計
8	茨城	国際・交流事業主査	柳瀬久美子	○	○	直前ク書記
9	千葉	ユース事業主査	青木 一芳	○	×	直前ク書記
10	東京江東	メネット事業主査	島田 京子	○	×	
11	東京江東	会長	相川 達男	○	○	直前区地域奉仕事業主任
12		副会長	小松 重雄	×	×	直前部書記
13		副会長	酒向 裕司	○	○	直前部会計
14		書記	本間 剛	×	×	
15		会計	駿河 優子	×	×	
16	千葉	会長	長尾 昌男	重複	重複	次期部長
17		副会長	三村 澄江	×	×	
18		書記	青木 清子	○	×	直前会長
19		会計	徳永 浩一	○	×	
20	東京グリーン	会長	浅見 隆夫	○	○	
21		副会長	西澤 紘一	○	○	直前副会長
22		書記	目黒 卓	○	×	
23		会計	平林 正子	○	○	
24	埼玉	会長	上松 寛茂	○	○	直前副会長
25		副会長	衣笠 輝夫	○	○	直前会長
26		書記	水無瀬隆造	×	×	直前ク書記
27		会計	小林 道明	×	×	直前ク会計
28	東京北	会長	辰馬 行男	○	○	直前副会長
29		副会長	村杉 克己	重複	重複	地域奉仕事業主査
30		書記	村杉 克己	重複	重複	地域奉仕事業主査
31		書記	金 秀男	×	×	直前ク書記
32		会計	磯部 成文	×	×	直前会長
33	所沢	会長	栗原 成晃	○	○	直前副会長
34		副会長	大澤 和子	○	○	直前会長
35		書記	東 裕二	○	○	
36		会計	小関 京子	○	○	直前ク会計
37	東京ひがし	会長	鮎澤 正和	○	未定	直前会長
38		副会長	須田 哲史	×	×	直前副会長
39		書記	森村 実	休会中		直前ク書記
40		書記	金丸 満雄	○	○	直前会員事業主査
41		会計	野本多美子	○	×	直前ク会計

2016-2017年度 関東東部 第1回評議会 出席者リスト (2)

	クラブ名	役 職	名 前	評議会	懇親会	兼任 及び 前職
42	川越	会長	吉野勝三郎	○	○	直前会長
43		副会長	林 京二	×	×	直前副会長
44		副会長	松川 厚子	○	○	直前副会長
45		副会長	牛村 永代	×	×	
46		書記	森下千恵子	×	×	直前国際・交流事業主査
47		会計	山崎 純子	○	○	
48	茨城	会長	稲本 修一	重複	重複	関東東部書記
49		副会長	柴川 林也	×	×	直前副会長
50		副会長	柳瀬久美子	重複	重複	国際・交流事業主査
51		書記	村田 淳	×	×	
52		書記	金子 和雄	×	×	
53		会計	中村 正	×	×	
54		会計	井上 恒久	重複	重複	関東東部会計
55		担当主事	和田 賢一	○	○	
56		担当主事補佐	大澤 篤人	○	○	
57	東京 ^へ 伊 ^は	会長	峯岸 友彦	○	○	直前副会長
58		副会長	藤原 宏隆	○	○	
59		書記	安齋 一徳	○	○	
60		書記	村田 拓彦	○	×	
61		書記	中道 幸子	○	○	直前ク書記
62		会計	岡田 光功	×	×	直前ク会計
63		担当主事	堀江 和広	○	○	
64		広報	佐竹 誠	○	○	直前書記
参加合計				39	31	

2016-2017 年度
 関東東部 第 1 回評議会 次第

日時：2016 年 7 月 23 日（土）13:30～16:30
 場所：東京 YMCA 東陽町センター「視聴覚室」

13:00	登録受付開始	受付	関東東部会計	井上 恒久
13:30	開会 開会点鐘 ワイズソング ワイズの信条 開会挨拶 出席者紹介	司会	関東東部書記 関東東部部長 関東東部部長 関東東部書記	稲本 修一 片山 啓 全 員 全 員 片山 啓 稲本 修一
14:00	活動方針 各事業主査活動方針 各クラブ会長活動方針 書記からのお願い 会計からのお願い 休 憩		関東東部部長 関東東部書記 関東東部会計	片山 啓 各事業主査 各クラブ会長 稲本 修一 井上 恒久
15:30	議事 提出議案審議 議事終了	司会 議長	関東東部書記 関東東部部長	稲本 修一 片山 啓
16:15	連絡事項 YMCA の歌		関東東部書記	稲本 修一 全 員
16:30	閉会点鐘 記念撮影		関東東部部長	片山 啓
17:00	懇親会			

2016-2017 年度 関東東部役員・クラブ役員名簿
--

関東東部役員一覧

役職	名前	クラブ名
部長	片山 啓	茨城
直前部長	鈴木 雅博	東京江東
次期部長	長尾 昌男	千葉
書記	稲本 修一	茨城
会計	井上 恒久	茨城
地域奉仕事業主査	村杉 克己	東京北
会員増強事業主査	柿沼 敬喜	東京グリーン
国際・交流事業主査	柳瀬久美子	茨城
ユース事業主査	青木 一芳	千葉
メネット事業主査	島田 京子	東京江東

関東東部クラブ役員一覧

クラブ名	会長	副会長	書記	会計(広報)
東京江東	相川 達男	小松 重雄 酒向 裕司	本間 剛	駿河 優子
千葉	長尾 昌男	三村 澄江	青木 清子	徳永 浩一
東京グリーン	浅見 隆夫	西澤 紘一	目黒 卓	平林 正子
埼玉	上松 寛茂	衣笠 輝夫	水無瀬隆造	小林 道明
東京北	辰馬 行男	村杉克己	村杉克己 金 秀男	磯部成文
所沢	栗原 成晃	大澤 和子	東 裕二	小関 京子
東京ひがし	鮎澤 正和	須田 哲史	森村 実 金丸 満雄	野本多美子
川越	吉野勝三郎	林 京三 松川 厚子 牛村 永代	森下千恵子	山崎 純子
茨城	稲本 修一	柴川 林也 柳瀬久美子	村田 淳 金子 和雄	中村 正 井上 恒久
東京ベイサイド	峯岸 友彦	藤原 宏隆	安齋 一徳 村田 拓彦 中道 幸子	岡田 光功 (佐竹 誠)

2016～2017 年度 活動主題

国際会長 **Joan Wilson** (カナダ)

主題 “Our Future Begins Today”

「私たちの未来は、今日から始まる」

スローガン

“Together We Can Do So Much Mor”

「手を取り合えば、もっと多くのことができる」

アジア地域会長 **Tung Ming Hsiao** (台湾)

主題 “Respect Y’s Movement”

「ワイズ運動を尊重しよう」

スローガン

“Solidify Y’ Men Family for Better World”

「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」

東日本区理事 **利根川 恵子(川越)**

理事主題：「明日に向かって、今日動こう」

(For the Future, Act Today!)

スローガン：「手を取り合って、今、行動！」

(Together, Let’s Roll Now!)

関東東部部長 **片山 啓(茨城)**

主題 「組み合わされ、結び合わされて、

造り上げられてゆく」

2016-2017 年度 東日本区理事方針

2016-2017 年度 東日本区理事 利根川 恵子(川越)

理事主題:「明日に向かって、今日動こう」

(For the Future, Act Today!)

スローガン:「手を取り合って、今、行動！」

(Together, Let's Roll Now!)

1. 基本方針

現在の東日本区は、会員数の減少、高齢化、財政の逼迫等、厳しい問題に直面しています。特に会員数の減少は、われわれの存在をも危ぶむ状態となっています。

そこで、今年度の理事主題としては、「明日に向かって、今日動こう」としました。「明日」とは文字通りの「明日」でもありますが、「将来」を見据えて、「今日」つまり「今」でできること、しなければならないことを、とにかく「動いて」実行しよう、という決意の表明です。動かなければ何も起こりません。

折しも、次期は20周年という節目の年であり、いくつかの記念事業も計画していく予定です。これまでの諸先輩ワイズメンの歩みを見つめ直すことが、各メンバーの「明日に向かって、今日動こう」という活力のもとになることと信じます。

メンバーの一人ひとりが、東日本区の「明日」を思い、熱い心と義務感をもって、積極的に「今日」行動してくださることを期待します。

2. 重点目標

(1) クラブ拡張と会員増強

- ・会員数 1,000 名突破を目指そう
- ・新しいクラブを少なくとも2クラブ作ろう
- ・各クラブは退会者ゼロ、純増2名を目指そう

(2) 部の強化・活性化

- ・役員(部長、書記、会計、各事業主査)の働きを強めるため、部内の研修を充実しよう
- ・部長選出方法を見直そう
- ・部長公式訪問、部会の充実を図ろう

(3) YMCA との協働の強化

- ・ワイズメンのYMCA会員率 100%を目指そう
- ・YMCAと「協力関係の原則」を結ぶなど、相互の協力関係を確認しよう

(4) スリムな区の運営

- ・部の強化・活性化と財政状況改善のため、区運営の3S(Simple Slim Speed)を促進しよう
- ・部、クラブでも、3S(Simple Slim Speed)の観点から運営を見直そう

3. 2016-17年度東日本区の目標

担当	事業	2016-17年度
地域奉仕	CS	1,250円/人以上
	ASF	500円/人以上
	FF	500円/人以上
国際・交流	BF	2,000円/人以上
	TOF	1,300円/人以上
	EF	記念献金
	RBM	800円/人以上
	YES	500円/人以上
	IBC	3クラブ トライアングル・2クラブ
	DBC	2クラブ
E (新クラブ設立)		2クラブ
M (会員増強)		90名
JEF (東日本区ワイズ基金)		500,000円
LT (リーダートレーニング)		次期部長・事業主任研修会 次期クラブ会長・部役員研修会 各部における部内研修会 各1回 適宜
区報		2回発行

2016～2017年度 関東東部 部長方針

関東東部 部長:片山 啓(茨城)

1. 部長主題 「組み合わせられ、結び合わされて、造り上げられてゆく」

2. 活動方針

クラブ間の協力体制を確立し、クラブ間の連携と協働を進め、クラブの活性化と成長を図ると共に、各クラブと関東東部の連携も深め、関東東部全体の発展を目指す。同時に YMCA との協力関係を見直し、具体的な協力関係強化に向けた施策の検討と連携強化に努める。そして、これらを 20 周年記念部会に組み込み、実施する。以上の活動方針を理事方針の重点 4 項目と共に実行し、関東東部として理事を積極的に支える。

3. 理事方針の重点目標から見た私たちの目標

(1) クラブ拡張と会員増強

- ・会員数 1,000 名突破を目指そう
 - 現在 950 名なので、関東東部は 15 名以上の純増を目指す。
- ・新しいクラブを少なくとも 2 クラブ作ろう
 - 今年度は難しいが中長期的な視点で検討を進める。
- ・各クラブは退会者ゼロ、純増 2 名を目指そう
 - 各クラブへの負担が大きいので、1 項目目の部の目標を優先して実施する。

(2) 部の強化・活性化

- ・役員（部長、書記、会計、各事業主査）の働きを強めるため、部内の研修を充実しよう
 - 部と各クラブ、及び各クラブ間の連携・連動の強化を進める。
具体的には、部長訪問や記念部会の活用、及びHPの有効活用やメーリングリストの作成し活用する。
- ・部長選出方法を見直そう
 - 既に改定済みである。スムーズな移行を実施する。
- ・部長公式訪問、部会の充実を図ろう
 - 公式訪問は、各主査と連携して挨拶だけではなく、部会へのPRと理解、話し合いの時間を頂いて各クラブの課題や要望などを聞く時間をもつ。
部会前の 8 月～9 月で全てのクラブを回り目標に沿った活動を推進する。
部会は、20 周年記念部会として特別プログラムを組み充実した会を成功させる。

(3) YMCA との協働の強化

- ・ワイズメンのYMCA会員率 100%を目指そう
 - 各クラブで推進して頂き、評議会と年度末に状況報告をして頂く。
- ・YMCA と「協力関係の原則」を結ぶなど、相互の協力関係を確認しよう
 - 各クラブで相互協力について検討をして頂き、評議会で報告をして頂く。
また、部会においても、YMCA の課題や今後の展望について共有し、今後の協力体制のあり方を模索する。

(4) スリムな区の運営

- ・部の強化・活性化と財政状況改善のため、区運営の 3S (Simple Slim Speed) を促進しよう
 - 部の強化・活性化は上記の方策を実施することで可能だと判断できる。関東東部の財政状況は健全であるが、部費の有効活用を考える。
- ・部、クラブでも、3S (Simple Slim Speed) の観点から運営を見直そう
 - 部としては、各クラブとの連携の強化が 3S に繋がると考えている。各クラブでも 3S の観点から目標を立てて頂く。

4. 部行事予定

第1回評議会	7/23(土)	13:30～16:30	東京YMCA東陽町センター
20周年記念部会	10/15(土)	13:00～17:30	つくば国際会議場、ホテル東雲
第2回評議会	11/19(土)	13:30～16:30	東京YMCA東陽町センター
現部役員との引継ぎ会	17年4/15(土)	10:30～11:30	〃
次期部役員研修会	〃	11:30～13:00	〃
第3回部評議会	〃	13:00～15:30	〃
次期部・クラブ役員研修会	〃	15:30～16:30	〃

5. 部長公式クラブ訪問と同行主査の予定(1回目)

クラブ名	訪問日	時間	会場	片山	村杉	柿沼	柳瀬	青木	島田
東京江東	9/15(木)	19時	江東YMCA	○	×	○	×	×	×
千葉	8/20(土)	18時	千葉YMCA	○	○	○	×	○	×
東京グリーン	7/20(水)	18時30分	和泉橋区民会館	○	×	○	×	○	×
埼玉	8/22(月)	18時	浦和区小峰ビル	○	×	○	○	○	×
東京北	8/17(水)	18時30分	神谷バー	○	○	×	○	○	×
所沢	9/10(土)	16時	所沢センター	○	○	○	○	×	×
東京ひがし	8/6(土)	16時	今井商店イーズ	○	○	○	○	×	×
川越	7/30(土)	16時	埼玉YMCA	○	○	○	×	○	×
茨城	8/26(金)	19時	茨城YMCA	○	保留	×	○	○	×
東京ベイサイド	9/24(土)	10時	しのめこども園	○	○	×	○	○	×

6. 関東東部会員数の推移

クラブ名	2015年 1月1日	2015年 7月1日	14-15 年度増減	2016年 1月1日	2016年 7月1日	15-16 年度増減	14-16 の増減
東京江東	27	25	-2	26	25	-1	-3
千葉	12	11	-1	12	13	1	0
東京グリーン	19	20	1	17	17	0	1
埼玉	6	6	0	7	7	0	0
東京北	12	11	-1	11	10	-1	-2
所沢	13	11	-2	11	9	-2	-4
東京ひがし	12	12	0	13	11	-2	-2
川越	11	11	0	10	10	0	0
茨城	13	15	2	14	14	0	2
東京ベイサイド	16	14	-2	17	18	1	-1
合計	141	136	-5	138	134	-4	-9

2016-2017 年度地域奉仕事業活動計画

地域奉仕事業主査 村杉克己(東京北)

1. 地域奉仕事業主査主題

「EMCに繋がる地域奉仕活動の展開を」

2. 今期の目標

東日本区区事業主任主題「EMCに繋がる地域奉仕活動の展開を」に沿いながら、関東東部地域奉仕事業をすすめて行く。

3. 関東東部における問題点・その対策、戦略

① YMC A サービス事業(強調月間 7 月)

- *各クラブメンバーは、各YMC Aの会員となる。
- *各YMC Aのプログラムには、クラブ一丸となって参加する事により、YMC A運動、ワイズメンズクラブ運動の意識を高める。

② A S F 事業(強調月間 7 月)

- *YMC A若手主事育成支援。
- *A S F 献金一人当たり 500 円以上の献金を。

③ C S 事業(強調月間 8 月)

- *地域社会・隣人奉仕活動、各クラブの取り組んでいる地域奉仕活動に、より積極的に取り組んでいくよう。新規プログラムの開発には、部C S資金の活用を。新規プログラムには 50,000 円・継続プログラムには 30,000 円
- *C S 献金一人当たり 1,250 円以上の献金を。

④ F F 運動〈家庭での断食〉(強調月間 11 月)

- *F F 献金一人当たり 500 円以上の献金を。

⑤ 区方針による区事業に積極的に参加する。

- *C S 活動写真コンテスト。
- *私のC S 自慢(電気料金の発展型)E C Oだけでなく、一見無駄と思えるような奉仕活動の募集。

⑥ 東日本大震災・熊本地震への支援活動を継続する。

⑦ 部長公式訪問同行で、より部内の地域奉仕活動を知り、他クラブにも知らせることにより、関東東部共有の働きとしたい。

2016-2017 年度会員増強事業活動計画

会員増強事業主査 柿沼敬喜（東京グリーン）

1. 主題

「一期一会を大切に、ワイズの輪を広げよう」

2. 今期の目標

- ① E（クラブ拡張）：2クラブ以上→中長期的な視点で検討を進める。
- ② M（会員増強）：各クラブ純増2名→ 部目標：純増15名以上。
- ③ C（維持啓発）：各クラブ退会者ゼロを目指す↑

3. 関東東部における問題点・その対策、戦略

- ① EMC活動のクラブ間および部とクラブとの連携と協働を強めるために
10クラブのEMC事業委員による合同委員会（仮称）の設立を計る。
（第1回合同委員会：9/3(土)17:30～19:30 東京YMCA東陽町センター）
- ② クラブの状況に応じた活動推進遂行の参考として、各クラブの会員異動情報の共有化を計る。
→部として情報を整理して10クラブへ配信する。
（各クラブ会長へのお願い事項）
部長およびEMC主査への「会員異動報告書」提出時に、その入退会のきっかけ・理由等をわかる範囲でメモを添付して下さい。（2000字程度）
- ③ EMC-C活動として、特に退会者が多い傾向の新入会員（入会3年まで）を念頭に入れて、入会時のオリエンテーションの充実、入会後のフォローの強化および部会や区大会へ積極的に参加を促す策を計る。

4. その他

「東日本区会員増強基準（2016年5月1日～2017年4月30日）」

- ・ EMC-E：新クラブ設立賞（新クラブをチャーターさせたメインクラブ）
- ・ EMC-M：最優秀クラブ賞（最も多くの新人会員を獲得したクラブ。優秀賞、努力賞あり）
新人会員獲得優秀個人賞（新入会員を2名以上紹介した会員）
グッドスタンディング賞（会員15名以上を達成したクラブ）
インビテーション優秀賞（期間中高いポイントを獲得したクラブ）
インビテーション個人優秀賞（期間中高いポイントを獲得した）
- ・ EMC-C：出席率最優秀賞（出席率が100%もしくは最も高出席率のクラブ）
出席率優秀賞（出席率が90%以上のクラブ）
ノンドロップ賞（新入会員があり、期間中退会者ゼロのクラブ）
- ・ EMC特別賞（会員増強事業に積極的に取り組み、成果を収めた部やクラブ又は個人）

2016-2017 年度 国際・交流事業活動計画

国際・交流事業主査 柳瀬久美子（茨城）

1. 主題

「未来を見つめて、今行動し、飛躍、そして楽しもう」

2. 今期の目標

- ① RBM: クラブ訪問時に、(蚊帳) の意義を PR します。
- ② IBC:、DBC:、トライアングル IBC: 終結を目指します。

3. 関東東部における問題点・その対策、戦略

(1) 課題:

- ① 『強調月間』に該当する横文字、略字の意義、内容を会員の皆様に理解をして頂く。
- ② RBM: 「蚊帳」、この運動は国連 (UN) が提唱し、国連と繋がっていることの理解を広める。

(2) 対策、戦略:

1) 表彰項目理解: 対象とする献金事業は、BF、TOF、RBM、YES の 4 事業。

- ① MVP 賞: 一人当たり献金額第 1 位のクラブと部 (合計 8)
- ② グランドスラム賞: 4 種事業全て目標達成したクラブ
- ③ 金賞 1) 事業・行事・部会などの際、RBM 献金を実施したクラブ、部
2) 4 種献金目標を達成したクラブ
3) 一人当たり献金額第 2 位のクラブ
- ④ 銀賞 1) 一人当たり献金額第 3 位のクラブ・部
- ⑤ 銅賞 1) 一人当たり献金目標金額を達成したクラブ、部
2) BF 使用済み切手収集優秀賞 (上位 3 クラブ)
- ⑥ IBC 締結賞
- ⑦ DBC 締結賞

2) 国際・交流事業主任の伝達事項を各クラブにスムーズに提示していく。

2016-2017 年度 ユース事業活動計画

ユース事業主査 青木一芳（千葉）

1. 部ユース事業計画

関東東部の各クラブは、2016-2017 年度の例会のうち少なくとも 1 回はテーマをユース事業に当てる。内容は各クラブでユース事業委員長を中心にして協議・決定する。

その例会には部ユース事業主査に参加を要請する。

- 内容の例
- ・国際ユースコンボケーション(8月台北で)参加者の報告（卓話）
 - ・ユースボランティアリーダーズフォーラム(下記)参加者の報告（卓話）
 - ・全リー研など YMCA のリーダー研修会参加者の報告（卓話）
 - ・キャンペリーダーのキャンプ参加の体験談（卓話）
 - ・ユース事業主任または主査を招いてのユース事業についての卓話

2. 区のユース事業への協力

ユースボランティアリーダーズフォーラム（(9月9-11日、山中湖センターで開催）にワイズ参観者として参加することを奨励する。

（このフォーラムは、ワイズがスポンサーとなり、各 YMCA に前途有望な新人リーダーを派遣してもらって、練達の講師と YMCA スタッフの指導を受けさせるもの。）

オープンフォーラム Y（期日未定。2016 年は 6 月 18 日に、代々木のオリンピック記念青少年センターで実施した）にユースの参加を奨励する。

（このフォーラムはリーダーほか経験を積んだユースに対し、各方面の専門家からの発題・指導をもとに、国際的視野をもった市民となるための研修を受けさせるもの。）

アジア太平洋エリアのユースコンボケーション（次回は 2017 年夏）へのユースの参加を奨励する。区では過去のコンボケーション経験者を講師とする研修会を企画している。

（この集会は、諸国のユースが寝食を共にし、互いを理解し、共通の関心事について協議することを通して友情を結ぶことを目的とし、将来ワイズメンとなることを期待するもの。）

3. STEP 派遣を希望するユースの発掘

STEP(短期のユース交換プログラム)は、ユースを他国のクラブ会員宅に数週間受け入れてもらい、その地の文化に親しみ、YMCA 活動などユースの活動に参加する機会を与えるもの。応募ユースは YMCA やワイズの参加経験があり、会話能力のあることが求められる。

2016 -2017 年度メネット事業活動計画

メネット事業主査 島田京子（東京江東）

関東東部における問題点・その対策、戦略

- 1) 東日本区メネットのつどい
(委員長を中心に東日本区各部のメネットが一堂会して、テーマに沿っての講演や話し合い、見学や体験、およびバザーやオークションを行うこともあります。)
*詳細は未定。
委員長、委員会と検討する。例年通り秋ごろ開催と思われる。
- 2) 第20回東日本区大会「メネットアワー」
(東日本区大会のわずかな時間を利用して、昼食を共にしながら、各部、各クラブの活動報告等話し合います。これは東日本区のプログラムのスケジュールにより、時間的に難しい場合もあるようですので、委員長の意向によります。)
*実施、詳細は未定。
委員長、委員会と検討する。
- 3) 国際プロジェクト、国内プロジェクトへの協力
*国内プロジェクトは今年度も「絵本を贈る運動」を行い、引き続き東日本大震災復興支援に協力する。
- 4) 前任者からの引継ぎ事項
引継ぎ事項として、「関東東部でのメネット会の未来」とあるので、部内でメネット会は東京江東ワイズメンズクラブのメネット会だけという危機的状況の中、各クラブのメネットに向けて何らかの情報発信、今後の活動へのアンケートや、他クラブとの交流などを実施しようと思う。

2016 -2017 年度 東京江東クラブ活動計画

会長 相川 達男

1. 会長主題

「今一度足元を固めよう！そこからステップアップ！」

2. 今期の目標

まずは、江東クラブとして足元を固める事を重点に活動したいと思います。江東クラブはYMCA江東センターを中軸として活動している為、江東センターの行事、協働する地域奉仕活動の中でのワイズの役割を確実に実行し、今まで以上に積極的にワイズが参加し周囲の人々が楽しく興味を持ってくれる場を作りたいと思います。その結果としてクラブ内の結束を強め、楽しいワイズに周囲の人が自ら志願して入会を希望するような環境づくりを行います。又、並行して近隣のクラブとの交流、情報交換、連携を強化し地域全体でのワイズ活動の活性化を図ります。そのような環境づくりの結果としてクラブ会員の純増3名を目指します。

3. クラブにおける問題点・その対策、戦略

第一の問題点は新入会員の確保に苦戦していること。江東クラブはセンター内の幼稚園父兄とのコミュニケーションの機会を有しているものの、現在の父兄世代の思考や生活習慣を十分に理解し受け入れられる態勢にはなっていません。又、父兄の方々もワイズのことを十分に理解してはいません。相互理解を高める必要があります。対策としては、前記したように江東センターや幼稚園の行事、奉仕活動に積極的に参加し（ただ参加するだけではなく多くの人とコミュニケーションを取り知り合いになる）ワイズとの距離を近いものにする。

4. ゴール

上記活動の結果として会員純増3名を目指します。このような地域、クラブ単位での活動が、結果として関東東部、東日本区の活性化に繋がると考えています。

5 その他（クラブ活動やファンド等のPR）

地域の公園である木場公園（東京YMCA チャリティーランの会場）の花壇整備に幼稚園児や父兄、近隣の人々を誘い地域奉仕活動を協働する場を拡充していきます。

2016-2017 年度 千葉クラブ活動計画

会長 長尾 昌男

1. 会長主題

「 みんなで、つなげよう 」

2. 今期の目標

- (1) 千葉 YMCA 理解を広め、新規会員の獲得
- (2) 20周年記念部会に優先参加(同日、千葉 YMCA チャリティーランの開催日)
- (3) 千葉 YMCA の活動のサポート(千葉市中央区役所花壇の奉仕 他)
- (4) 関東東部の次期ホストクラブとしての準備

3. クラブにおける問題点・その対策、戦略

- (問題点) 会員の高齢化 <対策> 若い会員の獲得
<戦略> クラブ年会費の見直し(6万円⇒4万2千円 前年度より実施済)
健康ウォーキング等で、YMCA 理解を広める(前年度より再開)

4. ゴール

- (1) 現状 13 名 ⇒ 目標 15 名(グッドスタンディング)
- (2) DBC の締結(2月の東西ワイズ交流会が候補日)
- (3) IBC 釜山セントラルクラブとの交流(2017年5月 来訪の可能性?)
- (4) 地域奉仕事業/国際・交流事業への献金協力(目標額 100%達成)

5. その他

- (1) 例会にリーダーを招待し、活動報告を聴く
- (2) 新成人リーダー、卒業リーダーにクラブからお祝いを贈る
- (3) ユースボランティアリーダーズフォーラム、ケソンシティ訪問への支援

《 区役所の花壇奉仕 》



《 東日本区・西日本区大会 お見合い中(大阪高槻クラブと) 》



2016-2017 年度 東京グリーン クラブ活動計画

会長 浅見 隆夫

1. 会長主題

「親睦なくして、奉仕はない」

2. 今期の目標

数は力、やはり会員増強を目指す

3. クラブにおける問題点・その対策、戦略

ワイズの原点に戻って会員の意識向上、自覚をうながす

- * 定刻に始まり、定刻におわる
- * ワイズグッズを必ず一点身につける
- * 例会中に一度は発言する

4. ゴール

- * 東日本区が提唱するすべての事業に協力し最低ノルマはすべて達成する
- * 何か新たな CS 事業をたちあげる

5. その他

神田川船の会は社会的認知を受けているが一層の充実を図る。

ガイドの質向上

- * 専門家による発声法の訓練
- * 江戸文化・歴史の更なる勉強

2015-2016 年度 埼玉クラブ活動計画

会長 上松 寛茂

1. 会長主題

「 着実に前進を 」

2. 今期の目標

ワイズメンズクラブはYMCAのサポーター組織でありながら、その機能を十分に果たしてはいない現状を踏まえ、いかに貢献できるかの具体的な施策を生み出す努力をする。

3. クラブにおける問題点・その対策、戦略

最大のネックは人とカネ。現メンバー6人では何をするにもパワー不足になりやすい。現在ゼロの女性メンバーの勧誘も積極的に行う。

カネは資金というより1人当たり5万円の年会費だ。この額では新メンバーを勧誘する際、辞退される理由の一つになっていることは間違いない。地域の高齢者などを対象に実施している「心のふるさと歌声集会」の参加者の相当数が事実上、準会員としてワイズの組織を支えている。この人たちを正式メンバーに誘い込むには年会費の半額以下の値下げしかない。それでも高すぎるという印象はあるが、関東東部や東日本区にこのことを強力に訴えていくことを最大の方針・目標として対応していく。

10月に同メンバーらと伊東温泉旅行を計画する一方、山中湖キャンプ場や東山荘、富士山ビレッジなどYMCAの施設を積極的に利用したプログラムを展開する。

4. ゴール

「心のふるさと歌声集会」（毎月第2金曜日）と「ワイワイパソコン教室」（同第1金曜日）の内容を充実していく。

新メンバーの加入2人以上を実現する。

5. その他

2016-2017 年度 東京北クラブ活動計画

会長 辰馬 行男

1. 会長主題

「義務を果たし、実りあるワイズ活動を、そして楽しく」

2. 今期の目標

- 1) 会員増強～仲間をふやそう
- 2) 東日本区理事方針に沿って「明日に向かって、今、動こう」
- 3) 東日本大震災・熊本地震支援活動の継続
- 4) 例会・親睦を楽しく
- 5) 興望館との協働
- 6) 清泉 YMCA のとの協働
- 7) YMCA プログラムの積極参加

3. クラブにおける問題点・その対策、戦略

- 1) クラブ会員の高齢化（会員数の減少、出席率の低下）
- 2) 地域奉仕活動が出来ないことが続いている。

対策) 会員を少しでも増やすしかなく、第二例会の出席率を増やし問題点を話し合い積極的に取り組む事が必要

4. ゴール

- 1) 義務を果たし、（東日本区からの各種献金目標金額の達成）
- 2) 実りあるワイズ活動を、（一人の会員の入会、退会者ゼロ）
（地域奉仕活動を模索する）
- 3) そして楽しく（例会、親睦、YMCA プログラムの参加）

5. その他

- 1) 興望館では興望館デー及び例会を協働する
- 2) ユースコンボケーション（IYC）に清泉 YMCA 参加を支援

2016-2017 年度 所沢クラブ活動計画

会長 栗原 成晃

1. 会長主題

「次世代を担う若者と共に歩む」

2. 今期の目標

- (1) 埼玉YMCAの活動内容の理解を深め、相互の協力関係を確認し、YMCAが行う青少年の育成等を目的とするプログラムを積極的にサポートする（キャンプ・スキー・障害者児水泳等）。
- (2) 社会奉仕活動を通して地域に貢献する（障害者支援・チャリティーラン、「狭山丘陵ウォーク」の継続開催、東日本大震災被災者支援活動）。
- (3) 例会や奉仕活動の交流の中で、生活を楽しく、豊かなものにする。
- (4) 会員増強を図る。

3. クラブにおける問題点・その対策、戦略

- (1) YMCAの活動内容を深めることを目的とした若手リーダーとの交流が少ない。
- (2) 社会奉仕活動として「第1回狭山丘陵ウォーク」を新規に企画したが、今後の定着化が課題である。
- (3) 会員の減少。

4. ゴール

- (1) 例会に、毎回学生リーダーを招待して、YMCAの活動内容の理解を深める。
- (2) 「第2回狭山丘陵ウォーク」は、PR活動を重ね広範囲から多くの参加者を募り定着化を図る。
- (3) 最低2名の入会者を実現する。

5. その他

- (1) 2017年6月2日（土）・3日（日）の第20回東日本区大会を成功させる。
- (2) クラブ会計方法、内容の見直しを検討する。

2016-2017 年度 東京ひがしクラブ活動計画

会長 鮎澤 正和

1. 会長主題

「変化と継続 クラブ一丸！！ PART2」

2. 今期の目標

- * 新入会員獲得 1 名以上
- * 既存プログラムへの取り組みの強化
- * YMCA との連携の強化

3. クラブ（部）における問題点・その対策、戦略

- * メンバーの高齢化
メンバー個人の加齢に関しては如何ともし難い。
クラブとしては若年層のメンバーを獲得したい。
- * メンバー数の減少
今期 2 名の休会者があるが、残りのメンバーで活動できる体制を作って行きたい。
- * 2018 年問題
東陽町に係る全てのクラブの問題ではあるが、東陽町センターをサポートするという設立目的があるひがしクラブとしては最重要課題と捉え、今後進むべき最適な道筋を見出せる様議論を重ねて行きたい。

4. ゴール

- * メンバーの増強は喫緊の課題ではあるが、最低 1 名は獲得したい。

5. その他

2016-2017 年度 川越クラブ活動計画

会長 吉野 勝三郎

1. 会長主題

「東日本区大会を成功させよう！」

2. 今期の目標

- 1) 東日本区理事 利根川恵子メンへの支援
- 2) 埼玉 YMCA 川越センターへの支援
- 3) 新体制となった埼玉 YMCA 全体への支援
- 4) DBC を結んだ、北九州クラブとの交流

3. クラブにおける問題点・その対策、戦略

- 1) 東日本区理事 利根川恵子メンへの支援
他クラブの例会や集会へ参加しやすくするため、交通費・登録料などの援助を大幅に増額しました。
- 2) 埼玉 YMCA 川越センターへの支援
身近にある川越センターを積極的に援助します。現状を正しく理解し、今後のセンターの姿をイメージできるように、連絡主事との関係を深めます。
- 3) 新体制となった埼玉 YMCA 全体への支援
チャリティーランやチャリティーゴルフを積極的に支援します。
- 4) DBC を結んだ、北九州クラブとの交流
無理のない交流に努める。

4. ゴール

二名の新入会者を目指す。

5. その他

- 1) 2017年6月3日(土)・4日(日)の第20回東日本区大会を他クラブの支援を受けながら成功させる。
- 2) 今年も、“紅あか”を拡販して、川越センターと埼玉 YMCA を支援する。

2016-2017 年度 茨城クラブ活動計画

会長 稲本 修一

1. 会長主題

「ワイズを楽しもう。輪を広げよう。」

2. 今期の目標

- *例会プログラムの充実
- *茨城YMCAの諸行事に対する支援
(まつりつくば、リーダー研修の補助等)
- *第8回チャリティゴルフの実施(9月9日)
- *第3回チャリティランの協力(10月29日)
会員の増強をはかる

3. クラブ(部)における問題点・その対策、戦略

- *例会出席者が固定化している傾向があるので、多彩なプログラムを準備して欠席者に出席を促す。
- *移動例会の実施(お花見例会、カラオケ例会等)

4. ゴール

会員増強 純増3名

5. その他

2016-2017 年度東京ベイサイドクラブ活動計画

会長 峯岸 友彦

1. 会長主題

「焦らず細部まで確実に、楽しく全員で大胆に！」

2. 今期の目標

第一目標としまして、今期中にクラブ独自の CS 事業を 1 事業以上確立し年度内の実施を目指します。

第二目標としまして、クラブ間連携強化及びクラブ内でのワイズ理解のため年度内に関東東部 8 クラブのうち 4 クラブ以上の例会訪問または合同例会実施を目指します。

3. クラブにおける問題点・その対策、戦略

クラブ内の実働メンバーに業務の片寄りが生じてしまい負担が増大した。対策としてクラブ内に委員会を設置し全員に役割を与え活動の効率化を図ります。

クラブの活動内容がこども園保護者や地域に周知されておらずクラブへの理解がされていません。対策として上記同様にブリテン・広報委員会を設置しブリテンの確実な発行や facebook 等を活用した情報発信でワイズメンズクラブの理解と会員増強を推進します。

4. ゴール

- ・ CS 事業を 1 事業以上確立する
- ・ 例会訪問、合同例会を 4 クラブ以上と行う
- ・ 退会者 0 名
- ・ 新規入会者 2 名以上
- ・ クラブ内 YMCA 会員数を 50%以上に引き上げる

5. その他

今年度も毎月第二土、日は中央区勝どきで行われる太陽のマルシェに参加出店致します。

クラブ運営に関する事務手続きのポイント

関東東部 書記 稲本修一（茨城）

2016-17年度理事方針にある「部の強化・活性化」、「スリムな区の運営」を具体化し、以前の事務手続きと違う点があります。この「クラブ運営に関する事務手続きのポイント」をよく読んで、間違いがないようにしてください。

1. 情報の受発信

クラブ会長はクラブの責任者であると同時に対外的な窓口でもあります。東日本区から各クラブへの連絡、情報提供、依頼等はすべてクラブ会長宛に送られます。以下のことにご留意ください。

- クラブメンバーへの情報提供：クラブ会長への情報送信は、東日本区メーリングリストおよび郵便等で行われます。区報、理事通信、各種連絡・案内、ニュース等がクラブ内に行き渡るよう、メールの転送、コピーの配布等をタイミング良く行ってください。
- 締切りの厳守：全てのクラブの回答が揃わないと先に進めない事項も多数あります。締切りは厳守するようお願いいたします。
- 情報の発信：クラブのCS・Yサ事業や特別集会等についての区、部への情報発信はクラブ会長の責任において是非積極的に行ってください。

2. 半年報提出の手続き

クラブから提出される年2回の半年報は、東日本区の現状を把握する基礎資料となり、クラブから支払われる東日本区費（国際会費、アジア地域会費を含む）などを算出する基準となります。

半年報用紙は6月中旬に会長にお送りする「クラブ運営必要書類ファイル」に入っています。また、東日本区のウェブサイトの「会員増強」ページからもダウンロードできます。

（東日本区ウェブサイト：<http://ys-east.jimdo.com/>）

半年報は、会長の責任において会長または書記が記入し、期限厳守のうへ、各所属部の部長宛に提出してください。

前期半年報： 2016年7月1日の会員数と異動報告：提出期限 7月10日 部長宛

後期半年報： 2017年1月1日の会員数と異動報告：提出期限 1月10日 部長宛

各部長はこれを集計して、前期は7月15日まで、後期は1月15日までに東日本区会員増強事業主任および東日本区事務所にご報告ください。

3. 会員異動報告書

クラブ会員に異動（入退会）があった場合は、「会員異動報告書」に、会長の責任において会長または書記が記入し、部長及び部会員増強事業主査に送ってください。事業主査は、東日本区会員増強事業主任及び東日本区事務所に送って下さい。用紙は、「クラブ運営必要書類ファイル」に入っています。また、東日本区のウェブサイトの「会員増強」ページからもダウンロードできます。

併せて、「クラブ運営必要書類ファイル」在中の「払込取扱票」を使って、入会金（6,000円）を区へご送金ください。

新入会の場合、入会キットを発送させていただきますので、入会式の15日前までにご報告ください。

4. 代議員会

代議員会は東日本区の最高意思決定機関です。クラブ会長と部代表からなる「代議員」で構成され、毎年、東日本区大会の前（初日午前中）に年次代議員会が開催されます。代議員は出席の義務並びに議案の提出及び議決の権利があります。代理出席は認められていませんので、必ずご出席ください。

5. 国際投票

毎年、国際会長、国際議員などを選出するための投票が行われます。選挙については、行われる際、直接ご連絡します。投票権を持つのはクラブ会長のみです。大切な権利ですので、棄権することなく行使してください。投票用紙は、直接、ワイズメンズクラブ国際協会本部（ジュネーブ）宛に直送してください。

投票権があるのは、グッドスタンディングクラブ（直近2半期の区費（国際会費、アジア地域会費を含む）が納入されていること）かつ直近2半期の会員数が15名以上のクラブですが、直近2半期の会員数が5名以上の場合は国際協会本部に特例措置を求めることができます。特例措置請求を含む投票方法の詳細は東日本区事務所からお知らせします。

6. クラブブリテン

クラブブリテンはクラブ内の「機関紙」であり「公式記録」です。また、クラブ内外への「広報誌」、入会希望者への「入会案内ツール」でもあります。さらに東日本区の各種表彰の多くはブリテン掲載の活動状況をもとにしています。ブリテンは、毎月必ず発行し、例会1週間前までに送付先に届くようにしてください。

必須掲載事項と送付先はHandbook & Membership Roster（ロースター）の「クラブ運営に関する事務手続きのポイント」を参照してください。

7. クラブ例会、事業・行事予定の東日本区ウェブサイトでの公開

今年度も、東日本区ウェブサイトで例会（会場、開始時刻、卓話者、特記事項等）およびCS、Yサ等のクラブ事業、各種行事等のスケジュールを公開する仕組み（東日本区カレンダー）が運用されています。各種行事等のスケジュールは、各クラブ及び各部ご自身で随時ご入力ください。区の行事も各種掲載いたします。是非積極的にご活用ください。

カレンダーの入力方法が不明な場合は、ITアドバイザーにお問い合わせください。

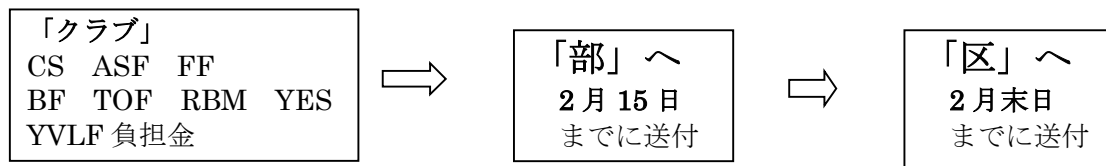
会計について

関東東部 会計 井上恒久(茨城)

東日本区は、会員数の減少、高齢化、財政の逼迫等の厳しい問題に直面しており、前年度からの「小さなキャビネット」を今年度も継続し、東日本区事務所は1名体制で、区事務所業務が簡素化されています。このため前年度から各種献金等の送付方法が下図のように変更されています。

また今年度理事方針により、区運営の3S Simple, Slim, Speed の促進を目指して、会計は特にSpeedを重視し、送金等の締切日の厳守をお願いいたく、ご協力よろしくお願い致します。

各種献金の送付方法は以下のとおりですのでご注意ください。



なお、区費、入会金、ロースター代金・広告代、並びに基金（JEF、EF）従来通り「クラブ」から直接「区」へ送金して下さい。

会計業務に関してお願いしたいことは次の7点です。

1. 部長、会長は、部・クラブの会計業務に関心を持ち、必ず会計監査に立ち会って下さ。
2. 長年同じ方が会計を務めている部・クラブは、ぜひ交代して下さい。
※会計の健全化のために必要です。会計への関心強化を維持してください。
3. 予算編成は今期の数字や内容をただ踏襲するのではなく、次期の活動方針に基づき、積み上げ式で作成して下さい。（根拠のある予算にして下さい。）
4. 振り込みは正確をお願いします。（内容だけでなく、振込先も間違えない様に！）
5. 区費の前期納付期限は、8月15日、後期納付期限は、2月15日です。
6. 各種献金の締切日は、「部会計」へ2月15日までに、「部」より「区」へ2月末日に変更します。
7. その他詳細は最新のロースターを熟読して下さい。

会計業務の注意点

- 会計業務の基本は、
 - 正確性（根拠を正確に！金額＝人数、単価がベース）
 - 期日厳守（期日のあるものは必ず守る。どうせ支払うなら早目に！）
 - 連絡（各種献金は送金内訳を速やかに部会計に連絡して下さい。部会計は送金時に東日本区事務所に連絡）
 - 記録（漏れなく、見やすく記帳する。）
 - 保管（いつでも見られる。すべて必要なものが揃っている。）
 - 明確性（誰にでもわかる。会計担当者の勝手・都合の排除）
 - 不明の点は速やかに問い合わせる。（そのままにしておかない！）
- 自分だけがわかれば良い、ではなく送金等相手のある内容は相手に、また部内・クラブ内の会員にわかりやすくなければなりません。

関東東部 部会計からのお願い

会計 井上 恒久 (茨城)

1. 関東東部 部費及び負担金の徴収

項目	内容	請求書の送付	納入先	納入期限
関東東部 CS 資金以外	下図①+②+③	7 月下旬： 部会計 →クラブ会長、 クラブ会計	【関東東部会計口座】 みずほ銀行 東陽町支店 ワイズメンズクラブ関東東部 普通 1 2 5 9 1 1 2	8 月末日
関東東部 CS 資金	下図④			

2. 部費等の内訳

項目	金額	納入期限
①部費	2,000 円 × 会員数 (担当主事を含む)	8 月末日
②部会負担金	1,000 円 × 会員数 (担当主事を含む)	8 月末日
③ユースボランティア・ リーダーズフォーラム負担金	20,000 円 (1 クラブ)	8 月末日
④部 CS 資金	1,250 円 × 会員数 (担当主事を含む)	8 月末日

3. 東日本区 区費等の徴収

(1) 東日本区費等の請求と納入期限

請求書の送付 東日本区会計→クラブ会長 前期 7 月下旬 後期 1 月上旬
納入期限 東日本区会計口座 前期 8 月 15 日 後期 2 月 15 日

(2) 送金方法

- ①区費等の送金は、東日本区からお送りする請求書に従い、所定の「払込取扱票」を必ず使用して、期限内に送金してください。
- ②「払込取扱票」には、払込人の氏名だけでなく、必ずクラブ名もご記入ください。また、「通信欄」には必ず払込金の明細をご記入ください。
- ③各種献金の納入期限が 2 月 15 日に統一されました。

(3) 東日本区費等の内訳・納入期限

項目	金額	納入期限
東日本区費 前期分	7,500 円 × 会員数 (担当主事を除く)	8 月 15 日
後期分	7,500 円 × 会員数 (担当主事を除く)	2 月 15 日
東日本区費(担当主事分)前期分	2,000 円	8 月 15 日
後期分	2,000 円	2 月 15 日
東日本区名簿代	1,600 円 × 購入部数	8 月 15 日
西日本区名簿代	1,900 円 × 購入部数	8 月 15 日
ロースター広告掲載代	20,000 円 (または 10,000 円) × 件数	8 月 15 日

(4) その他の東日本区への送金

項目	金額	納入期限
ASF	500 円以上 × 会員数	2 月 15 日
TOF	1,300 円以上 × 会員数	2 月 15 日
BF	2,000 円以上 × 会員数	2 月 15 日
YES	500 円以上 × 会員数	2 月 15 日
RBM	800 円以上 × 会員数	2 月 15 日
CS	1,250 円以上 × 会員数	2 月 15 日
FF	500 円以上 × 会員数	2 月 15 日
EF	任意 (但し 100 ドル以上をお奨めします)	随時 (最終 5 月 15 日)
JEF	任意 (5,000 円以上)	随時 (最終 5 月 15 日)
入会金	6,000 円 (1 人につき)	会員異動報告書提出時
災害募金等	任意	都度指定

※「その他の東日本区への送金」は基本的には任意の献金ですが、できるだけ会員数 (担当主事を含む) に応じた献金をお願いします。目標達成表彰の基準となるクラブメンバー数 (会員数) は当年度 7 月 1 日付けの半年報の人数です。(担当主事、広義会員、功労会員を含む)

(連絡先) 東日本区事務所 TEL&FAX : 03-5367-6652 e-mail: yseast@ymcajapan.org
東日本区会計 吉田公代 (川越クラブ) TEL 049-245-5490

2016-2017年度 東日本区役員および委員長等一覧

		役職名	氏名	クラブ名
東日本区 役員	常任役員	理事	利根川恵子	川越
		次期理事	栗本治郎	熱海
		直前理事	渡辺 隆	甲府
		書記	山本剛史郎	川越
		会計	吉田公代	川越
	事業主任	地域奉仕事業主任	加藤 博	熱海グローリー
		会員増強事業主任	菊地弘生	仙台青葉城
		国際・交流事業主任	太田勝人	東京世田谷
		ユース事業主任	大久保知宏	宇都宮
	部長	北海道部部长	山本雅之	十勝
		北東部部长	長岡正彦	もりおか
		関東東部部长	片山 啓	茨城
		東新部部长	細川 剛	東京
あずさ部部长		浅羽俊一郎	東京山手	
湘南・沖縄部部长		若木一美	横浜とつか	
富士山部部长		増田 隆	富士	
監事	監事	駒田勝彦	甲府21	
	監事			
委員長	常置委員会	文献・組織検討委員会委員長	宮内友弥	東京武蔵野多摩
		LT委員会委員長	伊藤幾夫	東京コスモス
		東日本区ワイズ基金運営委員会委員長	村杉克己	東京北
		東日本区奈良傳賞選考委員会委員長	利根川恵子	川越
		東日本区事務所人事委員会委員長	栗本治郎	熱海
	事業委員会	地域奉仕事業委員会委員長	加藤 博	熱海グローリー
		EMC事業委員会委員長	菊地弘生	仙台青葉城
		国際・交流事業委員会委員長	太田勝人	東京世田谷
		ユース事業委員会委員長	大久保知宏	宇都宮
		メネット委員会委員長	相磯優子	沼津
特別委員会	東日本大震災支援対策本部本部長	利根川恵子	川越	
専任委員等	ヒストリアン	仙洞田安宏	甲府	
	ITアドバイザー	大久保知宏	宇都宮	
	トラベルコーディネーター	長澤山泰	東京	
	広報・伝達(PR)選任委員	吉野勝三郎	川越	
理事事務局	理事事務局長	吉野勝三郎	川越	
東日本区事務所	東日本区事務所長	利根川恵子	川越	
	東日本区事務所職員	小山憲彦	東京サンライズ	

2016-17年度 東日本区行事予定表

2016/1/6現在

年	月	強調月間	東日本区行事・報告・送金	各部・西日本区	国際・YMCA
2016	7	キックオフ YMCAサービス ASF RBM	9 第1回役員会 10 各クラブ前期半年報提出(部長まで) 15 部長は半年報を纏め、会員増強事業主任へ 31迄 前期請求書発送		
	8	CS	15 前期区費納期	27 北海道部部会	1-7 国際ユースコンペーション(台北) 4-7 国際大会(台北) 8 アジア地域議会(台北)
	9	ユース	9-11 ユースボランティア・リーダーズ・フォーラム	17 北東部部会 25 富士山部部会	国際議員推薦 国際会長候補者推薦
	10	EMC/E YES	29 次期部長・事業主任研修会	1-2 湘南・沖縄部部会 8 東新部部会 15 関東東部部会 22 あずさ部部会	国際半年報 8-10 日本YMCA大会 9 東山荘新本館献堂式
	11	ワイズ理解 ファミリーファスト	5 第2回役員会 10 ワイズデー		
	12	EMC/MC	8 祈りの輪		9-11 アジア太平洋地域・韓国地域 合同RDEトレーニング(バンコク) 11-12 アジア地域年央会議(バンコク) 国際役員投票
2017	1	BC/DBC	10 各クラブ後期半年報提出(部長まで) 15 部長は半年報を纏め、会員増強事業主任へ 31迄 後期請求書発送		国際役員投票スイス必着
	2	TOF	4-5 第2回東西ワイズ交流会(東山荘) 15 後期区費、各種献金、BF使用済み切手納期		
	3	BF メネット	4-5 次期クラブ会長及び 次期部役員研修会 10 代議員会告示		
	4	LT	7 代議員会議案締切 8-9 第3回役員会	東西理事連絡会議	国際半年報
	5	EF/JEF	2 代議員会議案送付 15 JEF イトリ-締切		
	6	評価	2 第4回役員会(川越) 3 代議員会(川越) 3-4 第20回東日本区大会(川越)	10-11 西日本区大会(熊本市)	17-18 日本YMCA同盟協議会

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
2016-2017 年度
第 1 回 関東東部評議会 議案書

第 1 号議案

提案年月日	2016 年 7 月 23 日
提案者	片山 啓
役職	関東東部部長

議案名	2016-2017 年度関東東部部長方針の承認の件
提案主旨	2016-2017 年度 関東東部の部長方針を承認していただきたい。
提案内容	本ワークブック 9 ページを参照。

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
2016-2017 年度
第 1 回 関東東部評議会 議案書

第 2 号議案

提案年月日	2016 年 7 月 23 日
提案者	鈴木 雅博
役職	関東東部直前部長

議案名	2015～2016 年度 関東東部決算、会計監査報告の承認
提案主旨	2015～2016 年度会計決算の審議・承認して頂きたい。
提案内容	別紙 決算報告（関東東部直前会計 酒向 裕司） 会計監査報告（2014～2015 年度関東東部部長 金丸 満雄） 本ワークブック 34～36 ページを参照。

2015-2016年度 関東東部会計

2015-2016年度 会計 酒向裕司

通常会計

収入			
項目	予算	決算	差額
前年度繰越金	876,054	876,054	0
部費 ¥2,000 × 会員数 136	272,000	272,000	0
部会分担金 ¥1,000 × 会員数 136	136,000	136,000	0
東日本区補助金 100,000/部+ ¥300 × 会員数 136	140,800	140,800	0
ユースボランティア・リーダーズフォーラム負担金	200,000	200,000	0
雑収入 (利息・他)	0	278	278
合計	1,624,854	1,625,132	278

支出			
項目	予算	決算	差額
印刷費	150,000	55,445	94,555
通信費	20,000	7,910	12,090
事務費	0	0	0
評議会経費 ¥50,000 × 回数 3	150,000	112,930	37,070
部会補助金 ¥1,000 × 会員数 136	136,000	136,000	0
部長活動費	50,000	50,000	0
書記・会計活動費 ¥20,000 × 人数 2	40,000	40,000	0
主査活動費 ¥20,000 × 人数 5	100,000	100,000	0
部事業費	250,000	0	250,000
メネット活動費	20,000	0	20,000
ユースボランティア・リーダーズフォーラム負担金	200,000	200,000	0
20周年史作成費	0	0	0
関東東部設立20周年記念事業	0	0	0
災害支援募金 (東日本区)	100,000	100,000	0
予備費 (19回関東東部部会補填、振込手数料)	408,854	51,186	357,668
合計	1,624,854	853,471	771,383
次年度繰越金			771,661

CS資金

収入			
項目	予算	決算	差額
前年度繰越金	277,445	277,445	0
クラブ拠出金 ¥1,250 × 会員数 136	170,000	170,000	0
合計	447,445	447,445	0

支出			
項目	予算	決算	差額
支援金 (常総市支援金、所沢クラブCS支援金)	150,000	100,000	50,000
事務費	5,000	0	5,000
予備費	292,445	0	292,445
合計	447,445	100,000	347,445
次年度繰越金			347,445

関東東部設立20周年記念事業

収入

項目	予算	決算	差額
前年度繰越金	200,000	200,000	0
合計	200,000	200,000	0

支出

項目	予算	決算	差額
活動費	20,000	0	20,000
予備費	180,000	0	180,000
合計	200,000	0	200,000
次年度繰越金			200,000

次年度繰越金

通常会計繰越金	771,661
CS資金繰越金	347,445
関東東部設立20周年記念事業	200,000
合計	1,319,106

残高

みずほ銀行	1,266,169
現金	52,937
合計	1,319,106

支出内訳

・印刷費

2014-2015年度部報後期分	13,395
2015-2016年度部報前期分	42,050
合計	55,445

・通信費

切手代	7,910
-----	-------

・評議会経費

第1回評議会	43,530
第2回評議会	31,631
第3回評議会	37,769
合計	112,930

・ユース事業

ユースボランティア・リーダーズフォーラム負担金	200,000
-------------------------	---------

・予備費

第19回関東東部部会への補填金	49,350
振込手数料	1,836
合計	51,186

2015~2016 年度関東東部 会計監査報告

2015~2016 年度 関東東部会計決算を監査した結果、適正である
ことを確認しましたのでここに報告いたします。

2016年 7 月 2 日
2015・2016 年度 直前関東東部部長

金丸満雄 

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
2016-2017 年度
第 1 回 関東東部評議会 議案書

第 3 号議案

提案年月日	2016 年 7 月 23 日
提案者	片山 啓
役職	関東東部部長

議案名	2016～2017 年度 関東東部予算案を承認する件
提案主旨	2016～2017 年度予算案の承認
提案内容	本ワークブック 38 ページ参照。

2016-2017年度 関東東部会計予算案

通常会計

収入				13-14年度決算	14-15年度決算	15-16年度決算	16-17年度予算
項目							
前年度繰越金				¥1,495,944	¥1,087,272	¥876,054	¥771,661
部費	¥2,000	×会員数	134	¥315,000	¥302,500	¥272,000	¥268,000
部会分担金	¥1,000	×会員数	134	¥126,000	¥121,000	¥136,000	¥134,000
東日本区補助金 100,000/部+	¥300	×会員数	134	¥137,800	¥136,300	¥140,800	¥140,200
ユースボランティア・リーダーズフォーラム負担金				¥180,000	¥180,000	¥200,000	¥200,000
雑収入 (利息・他)				¥2,433	¥179	¥278	¥0
小計 (繰越金を除く)				¥761,233	¥739,979	¥749,078	¥742,200
合計 (繰越を含む)				¥2,257,177	¥1,827,251	¥1,625,132	¥1,513,861

支出				13-14年度決算	14-15年度決算	15-16年度決算	16-17年度予算
項目							
印刷費				¥65,414	¥72,637	¥55,445	¥60,000
通信費				¥9,470	¥2,900	¥7,910	¥8,000
事務費				¥0	¥0	¥0	¥0
評議会経費	¥35,000	×回数	3	¥76,141	¥68,989	¥112,930	¥105,000
部会補助金	¥1,000	×会員数	134	¥126,000	¥121,000	¥136,000	¥134,000
部長活動費				¥50,000	¥50,000	¥50,000	¥50,000
書記・会計活動費				¥20,000	¥20,000	¥40,000	¥20,000
主査活動費	¥20,000	×人数	4.5	¥50,000	¥50,000	¥100,000	¥90,000
部事業費				¥20,000	¥0	¥0	¥0
メネット活動費				¥0	¥0	¥0	¥0
ユースボランティア・リーダーズフォーラム負担金/ユース支援金				¥240,000	¥195,000	¥200,000	¥200,000
関東東部設立20周年記念事業費				¥200,000	¥0	¥0	¥0
災害支援募金 (東日本区)				¥200,000	¥200,000	¥100,000	¥100,000
予備費				¥112,880	¥170,671	¥51,186	¥50,000
小計 (繰越金を含まない)				¥1,169,905	¥951,197	¥853,471	¥817,000
収入-支出 (繰越金を含まない)				¥-408,672	¥-211,218	¥-104,393	¥-74,800
次年度繰越金				¥1,087,272	¥876,054	¥771,661	¥696,861
合計				¥2,257,177	¥1,827,251	¥1,625,132	¥1,513,861

CS資金

収入				前年度決算	予算
項目					
前年度繰越金				¥277,445	¥347,445
クラブ拠出金	¥1,250	×会員数	134	¥170,000	¥167,500
合計				¥447,445	¥514,945

支出				前年度決算	予算
項目					
支援金				¥100,000	¥150,000
事務費				¥0	¥5,000
予備費				¥0	¥50,000
次年度繰越金				¥347,445	¥309,945
合計				¥447,445	¥514,945

関東東部設立20周年記念事業

収入				前年度決算	予算
項目					
前年度繰越金				¥200,000	¥200,000
合計				¥200,000	¥200,000

支出				前年度決算	予算
項目					
活動費				¥0	¥200,000
予備費				¥0	¥0
次年度繰越金				¥200,000	¥0
合計				¥200,000	¥200,000

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
2016-2017 年度
第 1 回 関東東部評議会 議案書

第 4 号議案

提案年月日	2016 年 7 月 23 日
提案者	片山 啓
役職	関東東部部長

議案名	東日本区定款見直し委員会設立に向けた委員推薦の件
提案主旨	東日本区より、東日本区定款改訂委員会設立に向け、各部より代表として委員 1 名の選出し、7 月 25 日（月）までに理事に報告をするように要請を受けている。このため、本評議会において、関東東部の代表を選出させて頂きたい。
提案内容	まずは、議場にて自薦・他薦を受け付けたい。その上で、特にない場合には、議長団側として推薦候補の承認を受けたい。

関東東部 20 周年記念部会

大会主題

主題：20 年を考える Past, Today, Future

副題：ワイズのこれまでの 20 年間を振り返り、今を見極め、
これからの 20 年を YMCA と共に考えよう。

日時：2016 年 10 月 15 日(土) 13 時～19 時

場所：つくば国際会議場（部会）、ホテルグランド東雲（懇親会）

会費：4,000 円（調整中）

○基調講演：

ワイズの今と未来（元 APAY 総主事 山田公平）

YMCA ブランディング報告(日本 YMCA 同盟内で調整中)

○各クラブ、部、YMCA からのプレゼン

今日の課題とこれからの 20 年について。②ワイズと YMCA との協働について

○分団兼合同例会として協議（他クラブの方々との交流と協議の時間を持ちます）

Group1 東京江東、埼玉、千葉

Group2 東京ひがし、東京北、川越、茨城

Group3 東京グリーン、所沢、東京ベイサイド

Group4 各ワイズの担当主事

Group5 他の部の方々

◎つくば国際会議場までのアクセス



つくば国際会議場



筑波グランド東雲

東日本区 IT 活用について

IT アドバイザー
大久保知宏 (宇都宮)

東日本区ウェブサイト

<http://ys-east.jimdo.com/>

トップページ
お伝えした最新記事
が掲載されています

理事通信
月初めに更新されます

行事予定。部・クラブも
情報登録できます
下記参照

クラブプリテン
現在 30 クラブが掲載中
希望クラブは IT アドバイ
ザーまで連絡

行事予定 登録画面

部・クラブ予定表

コメントをクリックすると予定を見たり、登録することができます。

当月の予定をコメントでご記入ください。
名前の欄にクラブ、部などの名称を記載して、コメント欄に予定をご記入
ください。

[2016年3月 スケジュール](#)

3月
01日

0 コメント

掲載したい月をクリック

2016年3月 スケジュール

3月
01日

スケジュール

コメント: 0

[コメントをお書きください](#)

ホームページ:

部・クラブ名を入力

名前: *

開催日・開催時間・内容など
ご記入ください
(記入例)
3月14日 18:00~ クラブ例会
ホテル・ニュー・イタヤ

コメント: *

送る

関東東部部則

第1章 総 則

第1条 名 称

この組織は、ワイズメンズクラブ国際協会（以下国際協会と称する）東日本区関東東部（以下「部」と称する）と称する。

第2条 目 的

第1項 この部則は、関東東部所属の各クラブが一層の活性化と発展をしていく為、部の組織及び運営について定めたものである。

第2項 この部則に定めのない事項については、国際憲法、東日本区定款の定めるところによる他、従来 of 慣習を参考にし検討することにする。

第3条 改 訂

この部則の改訂は、部評議会の議決による。

第2章 組 織

第4条 部の構成

部は、国際協会に所属するワイズメンズクラブをもって構成される。

第5条 部の役員

部役員 of 構成は、部長、次期部長、直前部長、書記、会計及び事業主査とする。但し、部長が必要と認める場合は、部評議会の承認を得て新たに役員を設けることができる。

第6条 次々期部長、部書記、部会計、事業主査、部選出代議員の選出

第1項 次々期部長の選出

次々期部長の選出は、各クラブの実情を踏まえた上で輪番制を考慮しつつ、現部長が次期部長と協議の上で推薦し、部長就任1年以内に開かれる部評議会において次々期部長を決定する。なお次々期部長として立候補があった場合も現部長と次期部長とが協議し、部評議会にかけ決定する。

第1項 次々期部長の選出

次々期部長の選出は、A、B、Cのグループの輪番制で、各グループの推薦を受け、部長就任一年以内に開かれる部評議会において次々期部長を決定する。なお、次々期部長として立候補または推薦があった場合は、現部長と次期部長とが協議し部評議会に諮り決定する。

第2項 部書記、部会計及び事業主査の選出

次々期部長が次期部長になった後、次期の部書記、会計及び事業主査を指名し、部評議会の承認を得て就任する。

第3項 部選出代議員は、部長及び直前部長が評議会の承認を得て就任する。

第7条 部役員 of 任期

部役員 of 任期は、毎年7月1日から翌年の6月30日迄とする。

第8条 部役員 of 任務

第1項 部長 of 任務

(A) 部長は、部の運営責任者であり部書記、部会計及び部事業主査を任命し、理事及び事業主任と連絡を密にし、部の一般行政及び財政を執行する。

(B) 部長は、部で行う諸事業について各事業主査に協力し、適切な指導をする。

(C) 部長は、その任期中少なくとも1回は、部内の各クラブ of 例会や役員会に出席して、その実態を把握し、活動を励まし助言を与える。

(D) 部長は、部内の親睦、情報の交換、クラブ会長の研修などの成果を上げることを目的として、部会、研修会を各々年1回以上、部評議会を年2回以上開催し、議長を務める。

(E) 部長は、部内に新しいクラブを誕生させるため、スポンサーとなるべきクラブを励まし、部の発展に寄与する。

第2項 部書記 of 任務

(A) 部評議会、部役員会等の議事録をとり、印刷し、各構成メンバーに配布する。

(B) 部内の理解を深める為にも、東日本区並びに部内の情報等をまとめ、年2回以上部報を発行し、部内メンバーに配布する。

(C) 部として必要な文書を常に整備保管しこれを年度末に次期部書記に引き継ぐ。

第3項 部会計 of 任務

(A) 部の収支予算を編成し、部評議会の承認を得る。

(B) 部経常会計 of 全般を統括し、整備記帳する。

(C)会計年度（毎年7月1日から翌年6月30日迄）終了後、会計報告を作成し、その次の部評議会承認を得る。

(D)次期部長の予算編成に協力する。

第4項 次期部長、直前部長の任務

ともに部長を補佐し、必要とされる時は部長の任務を代行する。

第9条 事業主査の選出と任務

第1項 各事業主査は、部役員会が必要とする事業部門ごとに部長が任命し、部評議会の承認を経て就任する。

第2項 各事業部門の活動は事業主査の指導により推進される。

第3項 第1項、第2項に定める事業部門については別に定める。

第10条 担当主事

クラブの担当主事は部会、評議会及びその他会合に随時陪席することができる。

第3章 運営

第11条 部評議会

第1項 部評議会は部内の最高議決機関であり、部長の召集により毎年2回以上開催する。

第2項 部評議会は、部長、次期部長、直前部長、部書記、部会計、クラブ役員（会長、副会長1名、書記1名、会計1名）、及び事業主査をもって構成し、部長は議長に就任する。

第3項 部評議会は構成メンバーの半数以上（委任状を含む）の出席をもって成立する。
又、議決は出席者の過半数をもって決し、賛否同数の場合は議長が議決に加わる。

第4項 クラブ代表の議決権は、会長・副会長・書記・会計の各1名とし、委任状も同様とする。

第5項 部評議会の議決を要する事項は次のとおりである。

イ. 部則の改訂、諸規定及び特別委員会の設置・変更・廃止。

ロ. 次々期部長の選出、並びに部長の指名した部事業主査、部書記、部会計の承認。

ハ. 特別委員会委員長及び委員の承認。

ニ. 部事業計画、及び部費、部会負担金など部収支予算の決定並びに変更。

ホ. 部事業報告及び部収支決算書の承認。

ヘ. 役員会その他の協議機関からの答申に基づく審議承認。

ト. その他、部長又は評議会が必要と認める事項。

第6項 部の書記、会計、事業主査及び特別委員会委員長は部評議会に出席し、議長の指名により報告及び答弁を行う義務を負う。

第12条 役員会

第1項 役員会は部長が必要と認める時にその都度召集し、部の運営について審議する。

第2項 役員会の審議結果は次の部評議会に報告し、承認を得る。

第13条 特別委員会

第1項 委員長によって委員会は召集され、委員長が議長となり審議を行う。

第2項 特別委員会の審議結果は次の部評議会に報告し、承認を得る。

第14条 部会

第1項 部会は部長の召集により、部所属メンバーの研鑽と親睦を目的として年1回開催する。

第2項 部会のホストクラブは部会準備委員会を設け、部長の指導のもと協議を重ね、部会開催のすべてを運営する。

第3項 ホストクラブは、部所属メンバー全員が均等に負担する部会補助費及び部会出席者の参加費をもって部会の一切を賄い、部会終了直後の部評議会において会計報告を行う。

第15条 公式訪問

第1項 部長が各クラブを公式訪問するときは、クラブ会長へ事前に訪問の日程及び目的を示して行う。

第2項 公式訪問に際しては、原則として役員が随行する。

第4章 会計

第16条 会計年度

会計年度は毎年7月1日に始まり、翌年6月30日に終わる。

第17条 財政

部の財政は、部所属各クラブが人数割りに負担する部費、及び東日本区よりの助成金によって賄われる。

第18条 予算

部の収支予算は部会計が編成し、年度初めの部評議会に提出し承認を得る。

第19条 収支決算の承認

収支決算報告書は、会計年度終了後ただちに作成し、その次の部評議会（新年度第1回目の評議会）にて承認を得る。なお会計監査は、直前部長が行うこととする。

第20条 収支決算報告書

部評議会に於いて承認された部の収支決算は、次年度部報第1報に掲載することをもって部所属メンバーへの報告とする。

第5章 細 則

第21条 細 則

部の組織、運営について、この部則に定めのない場合は、細則を設けることができる。

1997年7月1日制定施行
2002年11月10日改訂
2003年7月1日改訂施行
2015年11月14日改訂施行

関東東部施行細則

1. 総 則

- (1) この細則は、部則を一層適正に運用するために定めるものである。
- (2) この細則の改訂は、部評議会の議決による。

2. 次々期部長の選出

- (1) 従来輪番制であった部長の選出を、グループ制に移行し順次選出する。ただし、立候補または推薦があった場合は、評議会にて承認された者を選出する。
- (2) グループ分けは、以下の3グループとする。
Aグループ：千葉、東京グリーン、東京北
Bグループ：埼玉、所沢、川越
Cグループ：東京江東、東京ひがし、茨城、東京ベイサイド

3. 部 費

- (1) 部費はメンバー1名につき年額2,000円とする。
- (2) 部費は8月31日迄に部会計に納入、又は部会計が指定する部口座に振り込む。

4. 部会補助費

- (1) 部会補助費はメンバー1名につき年額1,000円とする。
- (2) 部会補助費は8月31日迄に部会計に納入、又は部会計が指定する口座に振り込む。

5. 事業部門

- (1) 部則第9条第3項の定めによる事業部門は次の通りとし、各事業部門において事業主査をもつ。
 - 1) 地域奉仕事業主査
(担当事業・YMCAサービス/CS/ASF)
 - 2) 会員増強事業主査
(担当事業・EMC/PR)
 - 3) 国際・交流事業主査
(担当事業・BF/EF/IBC/DBC/TOF)
 - 4) ユース事業主査
(担当事業・YEPP/STEP/YIA)
 - 5) メネット事業主査
 - 6) 東日本区ワイズ基金(JEF)の呼びかけについては部長直轄とする。

1997年7月1日制定施行
2002年11月10日改訂
2003年7月1日改訂施行
2003年11月15日改訂
2004年7月1日改訂施行
2015年7月25日改訂施行
2015年11月14日改訂施行

関東東部CS事業資金管理・運用 規定

部内各クラブから、部会計へ納付されるCS献金(会員1名あたり1,250円)は、次の規定によって管理・運営する。

1. 部内各クラブから納付されるCS献金を原資として、「関東東部CS事業資金管理運用委員会」を組織し、それは部長、部書記、部会計、地域奉仕事業主査で構成する。
2. 部内の各クラブが、単独あるいは共同で行うCS事業に関して、その事業費の援助申請が出たとき「関東東部CS事業資金管理運用委員会」に諮って、援助が望ましいと判断されたときに支給する。
3. 資金援助を希望するクラブは、CS事業資金援助申請書に替えて、事業計画書を部長に提出する。計画書には、①事業名称とその内容 ②実施予定日 ③予算案(総額)を明示する。
4. 支給の決定にあたっては、事業内容の他に、そのクラブが区や部に対して最小限の義務を果たしているかを、判断基準の一つとする。
5. CS事業援助金支給の基準は、新規事業は上限50,000円、継続事業は2年間で限度として上限30,000円とし、当年度CS献金総額を超えない範囲で支給する。
6. 支給を受けた事業に関しては、実施後直ちに詳細を部長に報告しなければならない。その事業が長期にわたる場合は、年度末に中間報告として部長に報告しなければならない。
7. 部が支給を決定した事業は、直ちに全てのクラブに発表し、その事業に対してできるだけ多くのクラブが協力するよう心掛けるものとする。
8. CS事業資金は、一般会計とは別に管理し、残額が出た場合は次期に繰り越すこととする。(原則として他の資金に流用してはならない)
9. この規定は、2010年7月17日の第1回関東東部評議会の議を経て制定され施行する。

1997年7月20日 制定施行
2010年7月17日 改訂施行

ワイズソング「いざ立て」

いざ立て	心あつくし
手を挙げ	誓いあらたに
われらの	モットー守る
ふさわし	その名ワイズメン
絶えせず	めあて望み
この身を	捧げ尽くさん

歌えば	心ひとつに
ともがき	ひろがりゆきて
遠きも	近きも皆
捧げて	立つやワイズメン
栄えと	誉れ豊か
まことは	胸にあふれん

ワイズの信条

- 一. 自分を愛するように、隣人を愛そう
- 一. 青少年のためにYMCAにつくそう
- 一. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう
- 一. 義務をはたしてこそ、権利が生ずることをさとう
- 一. 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

YMCAの歌

若人の	あつき祈りは	百年の歴史をつづる
としえの	望みにもえて	栄えあり
YMCA	われらまた	こぞりて起たん
開拓の	み旨かしこみ	福音のみ旗は進む
地の果ての	国々までも	光あり
YMCA	われらまた	勇みて行かん
民族の	へだて取り去り	手をつなぎ一つとなりぬ
もろともに	心合わせて	実りあり
YMCA	われらまた	誓いて勝たん

